

日 時：平成 26 年 12 月 1 日（月）18 時 30 分 ～19 時 40 分

場 所：杉館集会施設

対象町会：杉館

参加人数：16 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○町会要望について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>11/27 に行った行政委員連絡会議に当町会から 2 件要望したので、町会の方にお知らせする。1 つは花田自転車店の通りの水路が約 200m 陥没している。一部は通学路であり、高齢者が自転車等で通行するので非常に危険である。県の事業になるが、早急に補修をお願いしたい。</p> <p>2 つ目は工藤鉄美宅前の砂利道（約 50m）の舗装である。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 1 つ目は県道なので、県にできるだけ早くオーバーレイをしてもらえるよう要望する。現場を確認した。・ 2 つ目の舗装については要望が多いので、現場を確認し、緊急度で順番をつけて長期総合プランに組み入れたい。ご理解願いたい。
<p>○ロードミラーについて</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>県道のロードミラーの管轄はどこか。ほとんどのロードミラーが老朽化し、見えない。ひさしが取れ、下部が腐り折れかかったような危険なものもある。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 総務課である。後で現場を確認する。
<p>○耕作放棄地と空き家問題</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>将来、子どもたちが転出する可能性がある。市内には耕作放棄地や空き家が見られる。</p> <p>建物を取り壊し更地にすると、固定資産税が 6 倍になるという話を聞いた。耕作放棄地や空き家は、個人の財産ではあるが、地域の問題でもある。将来、子どもたちがここへ住まないのであれば、名義は子どもにして土地を更地にすることで、近所の方へご迷惑をかけずにすむのではないかと思っている。</p> <p>国の施策があると思うが、市としても空き家について考えてほしい。朽ち果てた空き家は危険なうえに見苦しく、市民が暗い気持ちになる。更地であれば、町会でも草刈り等対</p>

応できると思うので、考えてほしい。

(市の回答)

- ・耕作放棄地は農業委員会を中心として、放棄地の解消等施策をやっている。今後、米がさらに安くなればどうなるのか心配だが、なかなかいい手立てがないのが現状である。
- ・空き家は全国的な課題である。全国の空き家数は約 820 万戸である。2022 年になると 1,400 万戸まで増えると考えられている。
- ・市内の空き家は 423 戸で、平賀地域 142 戸、尾上地域 88 戸、碓ヶ関地域 193 戸である。その中には使える空き家もあるので、活用できないかと考えている。3 月議会を目途に空き家対策の条例を作るため、市民の代表の方と懇談会を行っている。
- ・更地にすると固定資産税が高くなると法律で決まっているが、国の施策が変わろうとしているので、市としても国の法律にあわせた条例を制定したい。
- ・空き家の撤去を市費でやるとなれば、撤去費用を取り返せない可能性があり難しい。

○学校給食について

(市民からの要望・質問)

米が安いうえに、米余りなので在庫をなくさなければならない。学校給食において、米飯は全国平均が週 3.11 回に対し、県は週 2.91 回と低い。市の給食事情はわからないが、少しでも多く米飯給食をしてほしい。

(市の回答)

- ・戦後と比較すると、米の消費量は半分以下に減った。副食の多さや米以外の主食を食べる人が多くなったことが原因である。食育を含め、米を食べる習慣を小さい時から勧めたい。
- ・市長就任後、市内の 3 小学校で給食を食べたが、給食がおいしいと評判だった。米の消費は米飯給食ですすんでいる。
- ・できれば地産地消として、副食も地元のものを使いたい、給食費や調理の手間がある。前日からの作り置きも衛生上できず、朝の短い時間で作らなければならない。
- ・給食では、パンは月 1 回、麺は月 2 回出しており、それ以外は米である。
- ・平賀学校給食センターでは、調理ラインはオール電化だが、ご飯はガス炊きの方がおいしいのでガスを使用している。市内の小中学校にそのご飯を供給している。
- ・給食センターの調理員は朝 8 時位に出勤し、各学校の給食時間に間に合わせるため 10 時 30 分頃から運んでいる。毎日が時間との勝負であり、時間の制約がある。その中でメニューを工夫し、バランスのとれた食事になっている。また、消費税が上がっても給食費（小学校 1 食 260 円、中学校 1 食 280 円）は上げなかった。ご理解願いたい。

○財源について

(市民からの要望・質問)

自主財源と依存財源の違いは何か。

(市の回答)

- ・おおまかにいうと、自主財源は皆さんからいただいた税金である。依存財源は交付税でくるお金である。
- ・自主財源で一番大きいものは市税である。使用料や手数料も含まれる。市で独自に集められる財源で約2割程度しかない。
- ・あとは地方交付税が約半分であり、国から交付金をもらっている。180億円の中で80億円以上が国からもらっていることになる。そのほかの依存財源として、国や県からの補助金がある。
- ・ほとんどが国からくるお金で行政が成り立っている。毎年、国では地方財政計画を作り、地方自治体を使うお金のある程度決めるが、地方交付税が減らされれば、行政に直結する問題なので、本来必要な行政サービスができなくなる。
- ・小泉元首相の時に三位一体改革で地方交付税が極端に減らされたことがあった。単独の市町村では行政サービスが難しくなってきたこともあり、市町村合併が進んだ。市町村合併すると、単独の市町村でもらうお金より多くもらえる。現在でも、単独のままでもらうお金よりも12億円程多い。その状態が合併後10年間続く。その後（平成28年から）6年間で1割減、3割減と徐々に減っていき、本来の交付税の額に戻る。一般財源で12億円減るのでかなり行政サービスに影響する。市民の皆様にとってサービスが低下しないよう、今から職員を減らす等行政改革し辛抱している。

○市議会議員補欠選挙の費用

(市民からの要望・質問)

市議会議員補欠選挙の費用が2,000万円以上かかっている。その費用を自主財源から支出できないか。来年もまた選挙があるので、どのように捻出するのか。

(市の回答)

- ・市の収入は自主財源と依存財源である。今年の当初予算総額は165億6,000万円で、そのうち自主財源（税金、基金からの繰入金等）は約20%である。依存財源のうち地方交付税は47.2%、国や県からの補助金が22.3%、市債6.9%、その他3.8%となっている。
- ・前回の補欠選挙費用は、結果として約1,700万円程度であり、市全体の収入から支出した。市の収入には自主財源と依存財源があり、その全体から総務費として出している。
- ・自主財源から払えばいいという話だが、自主財源と依存財源と違う分け方である。目的財源と一般財源に分かれる。目的財源は国の補助金を貰うので、道路建設等使途（目的）が決められており、制約がある。
- ・選挙費用については、一般財源となる。一般財源は地方交付税のように国からくるものや市が市税として集めるものもある。自主財源か依存財源かではわけられない。

○マイロード・マイタウン事業について

(市民からの要望・質問)

マイロード・マイタウン事業はいつまでやるのか。ぜひとも継続してほしい。

(市の回答)

- ・年度は区切らず、できればずっと継続したいと思っている。マイロード・マイタウン事業は、制限はあるが、地域の皆さんが力を合わせて自分たちが暮らしやすいようにすることにお金を出す事業なので継続したい。

○運動施設計画について

(市民からの要望・質問)

第二期運動施設計画等について教えてほしい。

(市の回答)

- ・合併特例債の期限が平成 32 年まで延長になったので、その起債がある内にこれからやらなければならない事業をすすめようと思っている。運動施設の整備や小中学校や市庁舎の改築、旧平川診療所の解体等新市建設計画を議会に示した。約 92 億円である。
- ・運動施設は来年までにできる予定だったが、(株)日本マイクロニクスに貸している駐車場を除いた計画だったので、計画を見直し 1 年間待ってもらった。これから自主設計の修正に入るところである。平成 27、28 年の 2 年間で、グラウンドと野球・ソフトボール場の機能を持たせた広場を作る予定である。
- ・(株)日本マイクロニクスに平賀体育館隣のグラウンドを約 1 億 4,000 万円で売却し、そこを駐車場として使っていただく。そのかわり、今まで使っていた駐車場は更地にして返却してもらい、できればそこも運動施設の土地として活用していきたい。
- ・市庁舎は耐震基準を満たしていないので、災害があった場合に防災拠点となり得ない。去年の 9 月議会で改築する方向性を出した。防災拠点となり得る方法として現庁舎に耐震化を施す方がいいのか建てなおす方がいいのか庁内でも検討した。経費にさほど違いがなく、行政のワンストップサービスや階段を使わず入れるようにしたいと思い、建て直すことにした。
- ・尾上庁舎に分庁舎機能があること、支所をどうするのかといった問題があるので、庁舎のあり方検討委員会を開き、その結果を見ながら方向性を考えることになるので、建物の大きさや場所等はまだ決まっていない。候補地としては現在の場所や旧平川診療所、旧柏木農業高校があった所（商工会付近）がある。
- ・ひらかドームのテニスコートやプールの反対側は、(株)日本マイクロニクスに駐車場として貸している場所も含め約 7 町歩以上ある。そこに 400m×8 コースの陸上競技場を全天候型ウレタン舗装で整備する。
- ・平賀体育館横は(株)日本マイクロニクスに売却した。陸上競技場のわきに野球・ソフトボールができる広場を 2 面整備する。その他はおおむね駐車場となる。現在、(株)日本マイ

クロニクスが駐車場として使っている土地は空けておき、将来何かある際はそこを活用する考えである。

(市民からの意見)

新庁舎は、現庁舎がある駅からまっすぐの通りでいい。場所は旧柏農（商工会付近）の辺りがいいと思う。

(市の回答)

- ・これから基本計画をたて、市民の皆さんの意見を伺う。旧平川診療所を壊してそこに建てれば合併特例債が使えるので有利になる。
- ・旧平川診療所の解体に1億2~3,000万円かかるが、そこに新庁舎が建つとなれば、市の負担が約33%で済む。さまざまな面で考え、できるだけ市の負担がかからないようにしたい。

○除雪業者について

(市民からの要望・質問)

昨年から除雪業者が変わり、不便になった。除雪業者が朝遅いので、出勤時まだ道路の除雪がされていない。今までの業者であれば夜に除雪していたので、出勤時には道路がちゃんと除雪されていた。

(市の回答)

- ・今年度の除雪計画が始まり、業者はすでに土木課で決定している。市から除雪業者へ他の工区と格差がないようパトロールをするよう指導しているので、早く丁寧な除雪をするよう業者へ指導する。
- ・違うルートをやっているのでは、杉館町会へ来るのが遅いのではないのか。

(市民からの意見)

昨年、除雪車がこないの確認したところ業者が変わっていた。他をやってからこちらへ来ているので遅いのかどうかかわからないが、出勤時に道路が除雪されていないことが多々あった。

○農地・水保全管理支払交付金について

(市民からの要望・質問)

農地・水保全管理支払交付金（以下「農地・水」）の事務が難しい。使いやすく書類も簡略化するよう県へ要望してほしい。例えば、21,000円を超えるものは相見積もりが必要となっているが、もう少し簡素化できないか。農地・水に比べ、中山間事業は簡単である。

(市の回答)

- ・農地・水はさまざまな町会で活用しており、会計が難しいという話はよく聞く。一般の農家には事務処理が難しいので、できるだけ簡単になるようお願いしていると聞く。ご不便をおかけしている。
- ・当初から面倒であると要望があった。稲作地帯は農地・水、りんご地帯は中山間事業があるが比べても農地・水の方が面倒である。市からも要望し少しはよくなったが、まだ制約が多い。お伺いしたことについて担当へ伝える。他の町会をみると、元市役所や農協職員等事務に精通した方が事務を手伝っている例が多い。

○町会要望について

(市民からの要望・質問)

各町会の要望事項について、市議会議員から委員を選出し、現場確認して優先順位を決定する委員会があってもいいのではないかと。市議会議員がいる町会の要望事項が優先的に決定しているように見受けられる。

(市の回答)

- ・市議会議員は市民の代表なので、市議会議員が優先順位を決めるというのも1つの考えではあるが、公平に見て、この道路よりあちらの側溝を補修した方が市民生活のためになるという風に順位づけしている。決して市議会議員がいる町会が優先されるということではない。行政で公平に判断し、順位をつける方がいいのではないかとと思う。

○福祉安心電話について

(市民からの要望・質問)

今後、ひとり暮らしとなった時に市へ連絡し助けを求められる連絡先はあるのか。黒石市では福祉安心電話があるが、平川市でもあるのか。

(市の回答)

- ・今後、高齢者の一人暮らしや2人暮らしが多くなる。今日、生協と高齢者等見守りの取組に関する協定書を締結した。生協で在宅配食サービスを実施しているので、届けた際に利用者に異変があれば市へ連絡がくることになった。
- ・福祉安心電話は平川市でもやっており、今のところ100名が利用している。利用を申し込むと担当者が決定する。具合が悪い等で福祉安心電話にかけると、県の社協から担当者に連絡がいくようになっている。随時受け付けている。
- ・高齢者等の見守りについて社協と連携しており、ほのぼの協力員が全市にいる。3人1組になり担当を決めて、一人暮らしの高齢者を見守り、郵便物がたまっている等の異変があれば声をかけるようにしている。台風で避難を呼びかける場合、協力員が声掛けをしている。また、介護施設（デイサービス等）でも一人暮らしでお困りの方に連絡する等二重・三重で一人暮らしの高齢者等を見守っている。